

カナッペ パーティーを 開こう！

【英語ノート1 Lesson6】

1 本実践の提案

「聞く」 活動を大切にしたい。

“コミュニケーション” というと、ついつい「話す」ことばかりに目を向けがちになる。しかし「聞く」という土台をしっかりさせないまま「話す」活動を急いでしまつては、よい結果は生まれない。「聞く」を十分に行うことが、自信をもって「話す」ことにつながるのである。

子どもと子どもが英語を使って会話をする場面だけがコミュニケーションではない。今回提案する授業は、ALTの話を子どもたちが聞いて反応するという活動がメインとなる。この「聞く」活動の中にも大切なコミュニケーションの姿があると、私は考える。

子どもの持っている英語の知識は少ない。そんな中でも、「知りたい」という切実感を抱いた子どもたちは、聞き取れた英単語や話し手の表情・動作などから推測して、話し手の意図を聞き取ろうとする。そのような姿こそ、外国語活動で大切にすべきコミュニケーションの姿だと考える。

2 本単元の概要

(1) 教材について



本単元ではカナッペパーティーを行う。カナッペとはクラッカーに生クリームやフルーツなどを盛りつけたお菓子である。カナッペパーティーでは、ゲスト役になってカナッペを注文したり、ホスト役になって注文通りにカナッペを盛りつけたりする。

単元後半で行うカナッペパーティーに向けて、単元前半では、食べ物に関する単語や「What do you want?」「～,please.」の表現に慣れ親しんでいく。

単元目標 外来語との発音の違いに気をつけながら、英語で気持ちよく注文し合おうとする。

扱う表現 「What do you want?」「～,please.」、食べ物に関する単語

(2) 全体計画 (全4時間)

1 時 本時	聞く 話す	先生のお気に入りカナッペを知る ・先生方のお気に入りカナッペの紹介を聞く。
2 時		カナッペパーティーに向けての準備をする ・グループごとに、お薦めカナッペの盛りつけを考え、メニューの看板を作る。 ・注文をしたり注文を受けたりする練習を行う。
3 時		カナッペパーティーを開く ・ゲスト役になってカナッペを注文したり、ホスト役になって注文通りにカナッペを盛りつけたりする。
4 時		自分の食べたカナッペをみんなに紹介する ・自分の食べたお薦めカナッペを紹介する。(パーティーでの注文の様子を再現する) ・紹介を聞いて、誰のお薦めカナッペかを当てる。

3 「聞く」を深めるために

一口に「聞く」と言っても、いろいろな意味での「聞く」がある。この「聞く」という活動を、大きく2つの「聞く」に分けて捉えていきたい。1つは、**英語の音声を「聞く」こと**、もう1つは、**相手の意図を「聞く」こと**である。

この2つの「聞く」について、それぞれ手立てを考えていく。

(1) 英語の音声を「聞く」

英語の音声を聞く活動では、英語が自然と口をついて出るくらいまで、繰り返し「聞く」ことが理想である。「聞く」活動を十分に行うことで、子どもは自信をもって「話す」ことができる。

変化ある繰り返しで、楽しく活動する

“変化ある繰り返し”を工夫することで、子どもが同じ単語や表現を、飽きずに楽しく繰り返せるようにしたい。

例えば、絵本やチャンツ、ゲームを用いるなど、活動に変化をもたせながら、同じ表現を繰り返し扱いたい。同じ活動をするにしても、例えば、キーワードゲームなら、キーワードの数を増やしたり、速度を速めたり、条件を付け加えたりするといったように、変化をつけて活動させたい。

チャンツは焦らず4時間で計画し、子どもに自信をもたせる

チャンツをする際は、第1時から完璧に言えるようにしようと焦らずに、第1時では、まず「聞く」ことに重点を置いて活動したい。

「第1時：聞く」→「第2時：言ってみる」→「第3時：言えるようになる」→「第4時：楽しく繰り返す」といったように、4時間で完成させるつもりでゆとりをもって計画を立て、子どもが自信をもって活動できるようにしたい。

4時間で完成させるつもりで	
1時	聞く
2時	言ってみる
3時	言えるようになる
4時	楽しく繰り返す

英語のシャワーで、耳を鍛える

授業中、ALTやHRTがなるべく英語で話し、子どもに英語の音声をシャワーのように浴びせていきたい。その際、あまりに英語ばかりになると、子どもに無理な負荷がかかってしまう。「これから話す話の中に、食べ物の単語が3つ出てくるから聞いていてね」といったように、聞く観点を日本語で伝えてから話すなどの配慮をして、子どもが安心して英語を聞けるようにしていきたい。

適度な負荷を与える	
簡単な指示	英語で
中くらい	日本語で観点を示してから英語で
複雑な指示	日本語で

(2) 相手の意図を「聞く」

相手の意図を聞く。それは、コミュニケーションとしての聞く活動である。

ここでは、“聞く意欲”と“聞く技能”が大切になる。「知りたい」という“切実感”をもって相手の話を聞く中で、聞き取れた英単語や話し手の表情・動作などから、相手の意図を推測しようとしていく姿を期待したい。

実物を用いて、“聞く意欲”を高める

コミュニケーションを図る上で1番大切なのは「伝えたい」「知りたい」という切実感である。

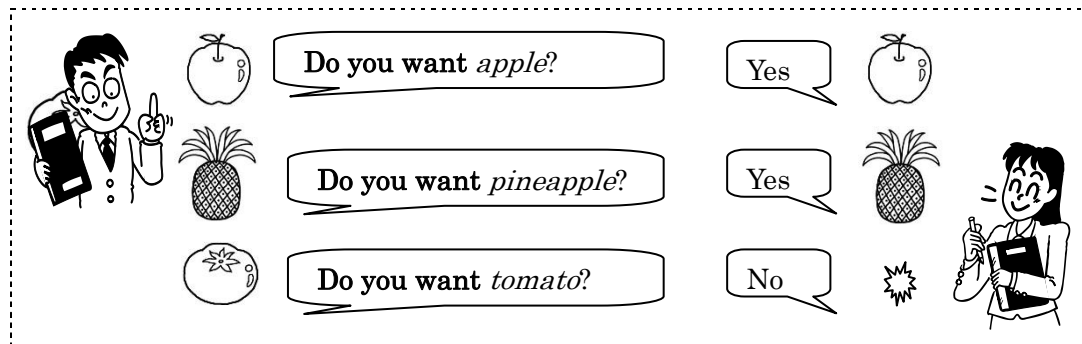
本実践では、カナッペの注文を受けて盛りつける場を設ける。自分の考案したメニューを注文してもらおうと嬉しいものである。例えたどどしい注文の仕方であっても、誠意をもって応えようとするであろう。

また、第1時では、先生方の注文したカナッペを当てるゲームを行う。「あの先生ならきっと、あのカナッペを注文するぞ…」といったように、先生のイメージとカナッペの種類を照らし合わせながら、子どもは興味をもって注文を聞くであろう。

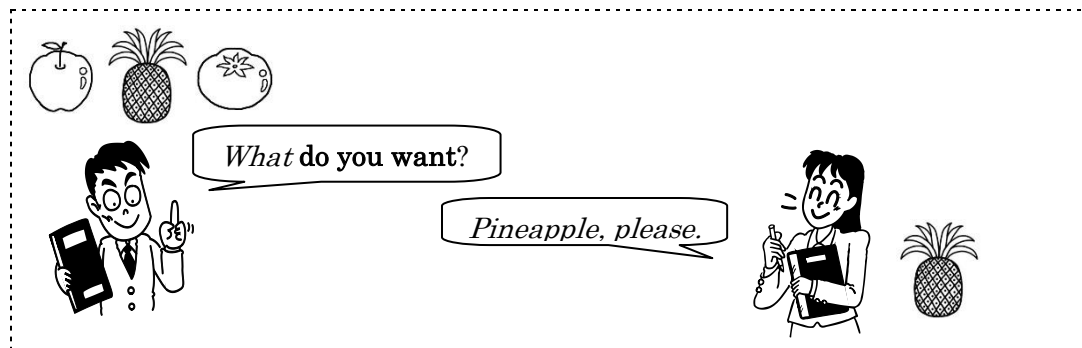
絵カードを使ったやりとりではなく、実物を用いることで「聞く意欲」が高まると考える。

似た表現を繰り返し、“言葉の意味を推測する姿”を引き出す

似た表現を繰り返すことで、子どもは、その意味を推測していく。



例えば、上のような会話を聞き、“りんごとパイナップルをもらう”という動作を見た子どもたちは、「きっと“Do you want”って、欲しいかどうかを尋ねている言葉だな」「きっと“Do you want”の後の言葉は、その物の名前だな」といった推測を働かせるであろう。





さらに、上のような会話を聞き、“パイナップルをもらう”という動作を見た子どもたちは、「きっと“Do you want”に“What”って付くと、“何が”欲しいかを尋ねる言葉になるのだな」と推測を働かせるであろう。

このように、似た表現を繰り返し、動作と関連づけることによって、子どもが言葉の意味を推測しようとしていく姿を引き出したい。

4 本時の学習

【目標】食べ物に関する単語の音声や「What do you want?」「～,please」の表現に慣れ親しむ。

学 習 活 動	教師の支援・留意点など
<p>1 絵本の読み聞かせ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Ketchup on Your Cornflakes?」という絵本の読み聞かせを聞く。 絵本の中に繰り返し出てくる「Do you want～?」という表現に対して、「Yes」「No」で答える。 	 
<p>本時の目当て「カナッペに何をのせるか聞き取ろう」</p>	
<p>2 カナッペに、〇〇をのせたい?（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> カナッペのトッピングについて、ALT の「Do you want～?」という質問に「Yes」「No」で答える。 ALT の話の中で、どんな言葉が聞き取れたのかを発表する。 	<p>※ 「Do you want～?」の表現を繰り返し聞かせ、動作と関連づけることで、その意味を推測させる。</p>
<p>3 キーワードゲーム（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> カナッペにのせる食べ物について、外来語と英語の発音の違いを確認する。 食べ物に関する言葉を使って、キーワードゲームを行う。 慣れてきたら、「正しい発音の時だけ消しゴムを取る」というルールを付け加える。 	<p>【扱う言葉】 banana(バナナ),orange(ミカン),apple(リンゴ),chocolate(チョコレート),tuna(ツナ),salami(サラミ),tomato(トマト),ketchup(ケチャップ),pineapple(パイナップル)</p> <p>※ 楽しみながら単語を繰り返し聞かせ、英語の音声に慣れ親しませる。</p>
<p>4 チャンツ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを聞く。 <div data-bbox="758 1097 981 1276" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【英語ノート1 042】 What do you want? What do you want? What do you want? Lemon Lemon A yellow lemon, please.</p> </div> 1回目：どんな言葉が出てくるかを聞く。 2回目：どんな場面設定かを聞く。 3回目：小さい声で唱えながら聞く。 4、5回目：カナッペパーティー用にアレンジしたチャンツを聞き、カナッペに何をのせたのかを聞き取る。 	<p>※ チャンツを言わせることを焦らずに、まずは十分に聞かせるようにする。</p> <p>【アレンジしたチャンツ】 HRT: What do you want? What do you want? What do you want? ALT: Salami, tomato tuna and ketchup, please.</p>
<p>5 クイズ：〇〇先生が注文したカナッペはどれ?（15分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生方が注文したカナッペの写真を見て、どの写真が誰の注文したカナッペかを予想する。 ALT が、ある先生になりきって注文の様子を再現する。それを聞き、どの写真が誰の注文したカナッペかを当てる。 正解のVTRを見る。 	<div data-bbox="1021 1411 1332 1646" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ホスト：Hello ゲスト：Hello ホスト：What do you want? ゲスト：Cheese, tuna and salami, please ホスト：Here you are. ゲスト：Thank you. ホスト：You're welcome.</p> </div> <p>※ 実際のカナッペパーティーのビデオを見せて「知りたい」という意欲を高める。</p>
<p>6 今日の振り返り・今後の見通し（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の計画を知る。 自分の作ってみたいカナッペを考える。 	<p>※ 自分の作ってみたいカナッペについて「話したい」という意欲を高め、次時へとつなげる。</p>